

外部評価者記入用

指定管理者評価シート(第2次評価)

所 管 課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	知明湖キャンプ場
	所 在 地	川西市黒川字落合381番地先
	設置目的	野外における活動を通じて、健全な心身を養うとともに、観光の推進と地域の振興に資する。
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	一般財団法人 一庫ダム湖周辺環境整備センター
	所 在 地	川西市中央町12番1号
指定管理業務の内容	<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>1, 知明湖キャンプ場の設置目的を達成するための事業の実施に関する事務 2, 知明湖キャンプ場の使用許可、使用制限、使用許可の取消等に関する事務 3, 知明湖キャンプ場の使用料の徴収及び減免に関する業務 4, 知明湖キャンプ場の使用料の還付に関する業務 5, 知明湖キャンプ場の施設及び附属設備の維持管理に関する業務 6, その他知明湖キャンプ場の設置目的を達成するため市長が必要と認めた業務</p>	
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日	

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント

1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】

(1) 施設の設置目的である事業運営の達成

【評価のポイント】

事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。

利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。

施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。

【所見】

A 概ね妥当と判断する。

B 事業計画に沿った事業が実施されている。積極的な広報活動により利用者数の増加を図ろうとしている。ダッチオープン、クワトロ鍋等のレシピを発信するなど、一層の利用促進を図る取組みをしている。

C 事業計画に基づいて事業が運営されていた。キャンプ場の自然を利用した催しがあり、特長を生かしている。ホームページが写真も多く見やすく広報活動が効果的。

【改善項目】

A 特になし。

B 新名神高速道路の開通により都市部からの来場が増加する中、施設の設置目的等を十分に理解される広報を行う必要があると考える。

C コロナ禍でキャンプブームの中、土、日、祝は予約が取りにくい。

(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況

【評価のポイント】

施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。

実施された事業への参加者数の増が図られたか。

【所見】

A 概ね妥当と判断する。

B 児童の自然とのふれ合いの機会を創る里山体験学習への協力等、環境保全と地域住民の福祉向上に寄与する等目的に沿った利用がなされている。

C 市内小学校の体験学習に協力し、有効活用されていた。利用者が増えている。キャンプブームで平日の利用も増えてほしい。

【改善項目】

A 特になし。

B どうしても天候に左右されるのは否めないが雨天時の中止、キャンセル等を回避できる工夫が必要か。

C 大雨、雷の時の避難できる場所があれば良い。

(3) 利用者の満足度

【評価のポイント】

利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。

利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。

利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。

その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。

【所見】

A 相応の努力をされていると判断する。

B 利用者の状況については、利用者数の増加やリピーターが多いことから満足度は高いと評価する。

C リピーターが多いとこのことで満足度は高いと思う。利用料金がとても安い。

【改善項目】

A 特になし。

B 何度も指摘しているように老朽化した施設等の保守・修繕などを計画的に行う必要がある。

C トイレやシャワー室など古いものは市の予算で新しくすべきだと思う。

評価項目及び評価のポイント

2 効率性の向上に関する取組み【効率性】

(1) 経費の節減

【評価のポイント】

施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。
指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。

【所見】

- A 限界まで努力されていると判断する。
- B 効率的な節減のための細部に渡る検討が加えられて、必要最小限に抑えられている。
- C 経費節減に努め、効率よく運営されている。

【改善項目】

- A 特になし。
- B 一方で従来から行っている夜間巡回等の利用者の安全を守る業務は質を落とすことなく行って頂きたい。また、利用者への節水のお願いは、経費削減の依存度の高い項目であることから、より一層の協力をお願いする工夫して頂きたい。
- C 利用者の協力を得て、節水の呼びかけや施設を美しく使用するよう注意をうながす。

(2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価

【評価のポイント】

収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。

【所見】

- A 概ね妥当と判断する。
- B 資材販売収入等が増加していることから、利用者の利便性を考慮した取組みが奏功している。ホームページの当該項目に係る案内も良好である。また、草刈、清掃等の地道な活動も印象がよい。
- C キャンプ場で販売している品物が増えている。

【改善項目】

- A 特になし。
- B 更なる利便性の向上と利用者満足を維持していくために施設の定期的、計画的な修繕が必要であり、1(3)同様、市所管課と連携しながら改善計画を組む必要がある。
- C 薪や炭の販売に力を入れる。今西さんの菊炭を川西特産の炭としてアピールする。

(3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価

【評価のポイント】

収支のバランスが適切であったか。
経費の効果的、効率的な執行が行われたか。
収支の内容に不適切な点はなかったか。

【所見】

- A 概ね妥当と判断する。
- B キャンプ場収支については適切な運営がなされている。一方で、過度な経費の削減は利用者の利便性、特に安全性を損なう恐れもあるので注意が必要である。
- C コロナや天候で増減はあるが、経費削減に努め頑張っている。

【改善項目】

- A 特になし。
- B 回答なし。
- C 市外利用者の利用料金を市内より倍に値上げしても良いと思う。市内利用者は代表者の住所チェックをする(免許書等で)。

評価項目及び評価のポイント

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】

(1) 管理運営の実施状況

【評価のポイント】

施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。
施設の維持管理が適切に行われたか。
指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。

【所見】

- A 良く努力していると判断する。
- B 職員配置は適切に行われており、人材育成・研修体制についても施設の維持管理に必要とされる安全教育等の講習会へ積極的に参加する等、質の向上に努めている。
- C 少ない人員の中、配置が適切におこなわれている。施設の方の対応は親切で適切である。

【改善項目】

- A 特になし。
- B 修繕料実績が予算計画額に比して少なすぎると感じる。修繕等については利用者の満足度の向上及び安全確保の観点から、市所轄課と密に連絡を取りながら具体的な計画を練る必要がある。
- C 施設の維持、管理には市と協議し適切な予算で整備する。

(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など

【評価のポイント】

施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。

【所見】

- A 限界まで頑張っていると判断する。
- B 事故防止、防犯対策については、夜間巡回を行うなど適切に行われている。防災対策についても気象警報発令時の緊急事態に対処できるようにマニュアルが整備されている。
- C 全ての評価のポイントにおいて適切に運営されてる。

【改善項目】

- A 特になし。
- B 近年では気象状況の激変、地震等の緊急災害が起きる懸念が高まっていることから、危機管理体制の一層の強化が必要であると考えます。
- C 避難訓練を定期的実施する。

総合評価

[所見]

- A 概ね妥当と判断する。
- B 事業計画に基づく運営管理が適切に行われている。利用者の増加を意識した改善策が実行され、収支面も概ね良好である。クマやイノシシ、鹿等の出没についても、引き続き嚴重な注意と対策及びその場合の対応が強く求められる。
- C ホームページが見やすくなり、予約状況がわかりやすい。利用者にとっては、自然が近く、また車で市内から30分ととても利用しやすいキャンプ場である。

[改善項目]

- A 回答なし
- B キャンプ場の魅力、利便性等をより広範囲に情報発信し、こまめな更新等を行うことが求められる。
- C コロナ感染対策をしっかりと行い、利用者数や収入の増加に努め、親しみやすいキャンプ場として市民に評価されるキャンプ場を目指して下さい。